

四天王寺社会福祉研修センター

新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も続きましたが、感染防止対策をしながらの事業運営を進めました。オンラインやオンデマンドにより内部研修の時間を確保し、検温などの体調確認・フェイスシールドを着用しながら地域向け外部研修を実施したことにより新型コロナ発生以前の稼働に戻すことが出来ました。

～事業活動報告～

(1) 法人職員向け内部研修の実施

階層別研修では、オンライン研修を基本とし研修時間の確保を図りました。オンラインではアクティブラーニングが実施しにくく、新型コロナウイルス感染状況をみながら集合研修を試みるなど学習効果を上げる努力をしましたが不十分さを残すこととなりました。研修前後の移動時間がなく参加が容易になる面は評価しつつ、学習効果を上げる工夫を模索していきます。

今年度休止した専門別スキル研修は、カリキュラムの在り方等を事業部内で検討され、次年度は高齢事業部から再開されることとなりました。

(2) 地域向け外部研修の実施

スクーリング参加までの体調管理を受講生に求め、研修会場内でも検温や消毒、換気など感染症対策を講じながら実施しました。外部講師との連携、法人内職員の協力を得て研修の充実度も向上しており、受講後アンケートで高い評価を得ています。

羽曳野市からの委託研修は予定通り2講座を実施し、羽曳野市における福祉人財育成に貢献することができました。

(3) 研修受講の支援

実務者研修受講生のおよそ半数が法人内職員であり、そのすべての受講生が資格取得支援規程、一般教育訓練給付金を受けています。職員は施設からの支援によりスキルアップができ、ご利用者へのサービス向上へとつながっております。

今年度施行された「実務者研修学生支援規程」は、利用実績はありませんでした。

～改善活動～

実務者研修修了生への支援として実施してきました「介護福祉士国家試験対策講座」ですが、介護福祉士資格取得を目指す地域の方にも参加していただきました。地域の福祉人財育成に寄与できるよう、良質な研修を提供していきます。